



エコ・ファーストの約束

～環境先進企業としての地球環境保全の取り組み～

2023年4月5日

環境大臣 西村 明宏 殿

シチズン時計株式会社

代表取締役社長 佐藤敏彦

シチズングループは、「市民に愛され市民に貢献する」という企業理念のもと、変化し続ける社会の中で、地球規模の視野で「サステナブル経営」実現を目指します。

1. 気候変動対応への取り組みを推進します

- 再生可能エネルギー由来の電力使用、省エネ活動を推進し、2050年度までに工場・オフィスからの温室効果ガス排出量を実質ゼロにすることを目指します。
- 2030年度までにサプライチェーンにおける温暖化ガス排出量：スコープ1、2を50.4%、スコープ3のカテゴリ1+11を30%削減します。（2018年度比）
- 2030年度までにシチズングループ（国内）の再エネ比率62%を目指します。
- TCFD提言に基づき、気候変動に伴うリスクと機会を1.5℃シナリオおよび4℃シナリオを用いて分析し、評価します。
- 地球環境や人に配慮したコミットメントを掲げたウォッチブランド『シチズン エル』は、材料調達から廃棄までに排出されるCO2排出量を算定し、「カーボンフットプリント」認証の取得を継続していきます。

2. 環境に配慮したモノづくりを推進します

- グリーン調達基準を策定し、化学物質管理を実施するとともに情報提供を行います。また各国の法規制に対応します。
- 開発段階から環境製品アセスメントを実施し、「省資源・省エネルギー」、「再資源化」、「長期使用性」、「有害化学物質管理」、「包装材」などの評価基準をすべて満たした環境配慮型製品の拡充を目指します。全従業員に対しては、啓蒙活動として年1回のeラーニングを実施すると共に、従業員一人一人が3R活動を推進します。
- 環境マネジメントシステムISO14001や環境会計を導入し、サステナビリティ・CSR報告書の作成により、環境配慮型経営に取り組んでいきます。

3. 生物多様性保全活動を推進します

- 汽水域でのマングローブ植樹や砂漠地帯での緑化活動によって、生物多様性を守るとともにネイチャーポジティブに貢献します。（NPO・NGO団体との協働）
- 全事業所で、地域社会における環境保全活動や生物多様性保全活動を推進します。長野地区でのオオルリシジミ保全活動や鹿児島地区でのウミガメ保全清掃活動など、環境保全活動を毎年継続します。
- 全従業員に対して、生態系サービスの教育を実施し、生物多様性保全への理解を深めます。保護活動の実施に際しては、大学講師の助言を受けたり、近隣にも施設を開放します。社内の教育は主にeラーニングによる個人学習を実施します。また、事業所が所在する自治体での社会貢献活動にも積極的に参加します。

シチズン時計株式会社は、上記の取り組みの進捗状況を確認し、その結果をホームページなどで定期的に公表するとともに、環境省へ報告します。

CITIZEN